

TAKE TO

(一社)東京都トラック協会足立支部竹ノ塚東地区部会 会報

ご挨拶 (地区部長 宇賀神俊也)

皆様、新年あけましておめでとうございます。平素は地区部会の活動にご理解いただき誠にありがとうございます。昨年より新型コロナウイルスが猛威をふるい、物流業界にも少なからず影響がありました。また、今月に入り1都3県に緊急事態宣言が発出される等、まだまだ先行きが見通せない状況下にあります。地区部会や交通安全の啓蒙等の活動ができなくなっています。その中で、少しでも皆様のお役に立てるような活動を模索しているところです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



安全研修会中止について

1/16に開催を予定しておりました、安全研修会につきましては、1都3県にわたり緊急事態宣言が発出されている状況を踏まえ、皆様の健康と安全を第一に考慮し、中止させていただきます。次回(2月開催)につきましては、後日お知らせいたします。

積雪時の対応について

年末年始にかけて、大雪の影響で、新潟県の関越道や、福井県の北陸道で、大規模な車の立ち往生が発生しました。関越道のケースでは、先頭車両はスタッドレスタイヤだったものの、摩耗していたためスタックし、立ち往生を発生させたという見方もあります。積雪が予想される地域を走行する場合は、事前に気象状況の把握、冬装備の確認、万が一立ち往生に巻き込まれた際に必要な水や食料、毛布等の装備が必要です。国土交通省では11日の緊急発表で、監査で雪対策を怠るなどの悪質な事例が認定されれば、車両の使用停止などの行政処分を受ける可能性があるとしています。

東京ではめったに積雪はありませんが、1センチでも積雪すると交通は大混乱します。荷主とも協議して、運行の停止など積雪時の対応策を策定しておくとういでしょう。

支部理事会

1/21に予定されていましたが、支部理事会は中止となりました。次回は2/9を予定しております。

当地区部会の活動が、物流ニッポン誌1/8号に掲載されました。

東ト協足立支部竹ノ塚東地区部会
12項目を1年間で
安全教育
研修

【東京】東京都トラック協会足立支部竹ノ塚東地区部会(宇賀神俊也部会長)は、事業者が乗務員に対して行わなければならない一般的な指導及び監督の指針12項目について、1年間を通して毎月1回、部会員が合同で学ぶ取り組みを行っている。外部の講師が資料を準備し、ポイントを分かりやすく解説。事業者の負担を減らすとともに、的確に安全教育を実施する。ドライバーと一緒に運行管理

者も参加すれば、自社で実施したことにできる。12月19日は足立貨物運送事業協同組合トラック会館で実施し、25人ほどが参加。竹ノ塚警察署の江口裕行交通課長も出席した。講師はプラスワン(大田区)の内俊彦社長が務め、「運転者の運転適性に応じた安全運転」について、受講者とやり取りをしながら研修を進めた。1年間を通して学ぶ取り組みは8月にプレ開催し、

9月から本格的に開始。来年8月まで月1回1項目を勉強する。今後は、受講者の意見も聞きながら、より多くの部会員に参加してもらえるよう工夫を重ねていく。

宇賀神部会長は「12項目について、中小の運送事業者がきちんと自社で教育するには労力がかかり大変だ。部会員は苦勞していると思い、また、部会として年間を通して行う活動が無かったことも実施する動機となった。少しでも部会員に貢献できるような取り組みを行っていきたい」と話した。(高橋朋宏)

編集者より

コロナ禍で飲食業界は、厳しい状況にあります。その中でデリバリーが多くなり、なかでもウーオーなる配達員が、道路を縦横無尽に走っています。彼らは我々のドライバーのように教育を受けていません。竹ノ塚署管内でも自転車配達員による事故が発生しています。会員事業者様におかれましては、接触事故などにならぬよう、指導していただければ幸いです。

torinoumi@kyodo-u.jp

編集:鳥ノ海